



株式会社UKCホールディングス 株主様へのご案内

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会：毎年3月31日
剰余金の配当の 基準日	期末配当：毎年3月31日 ※中間配当を実施するときの基準日は9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
公告方法	日本経済新聞
ホームページ	http://www.ukcgroup.com/
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先 (連絡先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL:0120-232-711

【お知らせ】

- 住所変更・単元未満株式の買取等のお問い合わせ先について
お取引口座のある証券会社にお問い合わせください。

- 特別口座に記録された株式に係る各種手続きについて
下記の特別口座管理機関にお問い合わせください。

- ①株式移転前の株式会社ユーエスシー株式をご所有の株主様
〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
東京証券代行株式会社 事務センター
TEL:0120-49-7009
- ②株式移転前の共信テクノソニック株式会社株式をご所有の株主様
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL:0120-232-711

- 未払配当金のお支払いについて

支払期間経過後の配当金につきましては、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社本支店でお支払いいたします。ご郵送の場合は上記郵便物送付先までご送付ください。

株式会社UKCホールディングス
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番2号
ゲートシティ大崎イーストタワー15階
TEL 03-3491-6575 FAX 03-3491-7825
<http://www.ukcgroup.com/>

株主の皆様へ



代表取締役社長

福寿 正博

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素からの皆様のご支援、ご高配に心より厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～9月30日）の当社グループにおきましては、海外のスマートフォン向けの電子部品等の販売やEMS（電子機器受託製造サービス）等を中心に事業本体は順調に推移し、売上高は前年を上回りました。しかしながら、海外連結子会社におきまして、回収に疑義の生じた売掛金に対して保守的にその全額を貸倒引当金に計上したことにより、販管費が大幅に増加し、営業利益、経常利益及び四半期純利益は前年を下回る結果となりました。海外事業の拡大に伴い、売掛金の回収に留まらず経営リスクは増大しているため、グループを挙げてリスク管理体制を見直し、より堅固なものにしていくとともに、上記売掛金の回収に努めてまいります。

下半期の経営環境につきましては、世界経済の見通しやデジタルスチルカメラ・スマートフォンの市場動向など予測が難しい状況にありますが、迅速な経営判断のもと、引き続き効果的・効率的な事業運営に努めてまいります。

中長期的な成長に向けた取り組みとしましては、製品ラインアップの拡充と海外事業の拡大に注力しております。

製品ラインアップの拡充に関しては、本ご案内中にございます通り、成長分野である環境エネルギー関連の新商材として、米国トランスフォーム社製のGaNパワー半導体の取り扱いを開始しました。これを皮切りに、引き続き成長市場に適した新商材を開拓・拡販してまいります。

海外事業の拡大に関しては、韓国有力メーカーとの良好な関係を活用し、あらゆる成長機会を模索するとともに、中国（台湾）、アセアン、インド地域においてはM&Aを含めたアライアンス戦略を加速してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2013年度第2四半期（第5期）
2013年4月1日～2013年9月30日



会社概要 (2013年9月30日現在)

商号	株式会社UKCホールディングス (英文名：UKC Holdings Corporation)
本社	東京都品川区大崎一丁目11番2号 ゲートシティ大崎イーストタワー15階 TEL 03-3491-6575 FAX 03-3491-7825
設立	2009年10月1日
資本金	43億83百万円
事業内容	各種半導体・電子部品、電子機器、システム機器販売事業、半導体等の信頼性試験・環境物質分析サービス及び、EMS事業等を営むこと、並びにこれらの事業を営む会社の株式又は持分を保有することにより、当該会社の事業活動を支配・管理すること
従業員数	単体53名 連結1,352名
取締役及び監査役	代表取締役社長 福寿 幸男 取締役 田口 雅章 取締役 小島 茂 取締役 山下 隆明 取締役(社外) 大根田 伸行 常勤監査役 森田 清文 監査役(社外) 秋山 治一 監査役(社外) 松村 幸祐

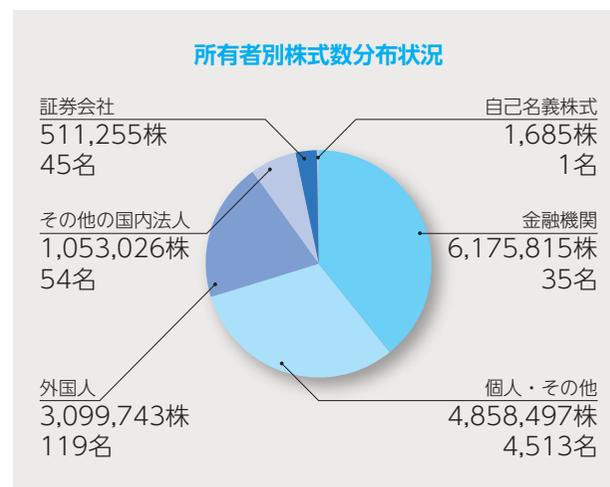
株式の状況 (2013年9月30日現在)

発行可能株式総数	57,000,000株
発行済株式総数	15,700,021株
株主数	4,767名

大株主

株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
みずほ信託銀行(株) 退職給付信託ソニー株003口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行(株)	2,234	14.23
ピーピーエイチ フォー ファイデリティ ロー プライズド ストック ファンド (プリンシパル オール セクター サポートフォリオ)	1,570	10.00
みずほ信託銀行(株) 退職給付信託東京都民銀行口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行(株)	623	3.97
(株)三菱東京UFJ銀行	496	3.16
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	480	3.06
中山 邦子	425	2.70
(株)みずほ銀行	370	2.35
明治安田生命保険(株)	295	1.88
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	284	1.81
(株)エヌイーアイ	230	1.46

株式分布状況



米国トランスフォーム社製次世代パワー半導体の取り扱い開始

当社は、米国カリフォルニア州のTransphorm, Inc. (トランスフォーム社) に資本参加 (約5百万ドル) するとともに、同社が開発製造する窒化ガリウム (GaN) 製パワー半導体の販売代理店契約を締結しました。GaN製のパワー半導体は、SiC (炭化ケイ素) 製とともに、現行のSi製と比較して、電力損失を大幅に低減するとともに、コストの削減にもつながる機器の小型化にも貢献する次世代のパワー半導体として市場拡大が期待されています。トランスフォーム社は、その600V GaNデバイスが初めてJEDEC (電子部品の標準化を推進するアメリカの業界団体) の認証を受けるなど、業界のトップランナーとして認知されています。また、この度、富士通株式会社及び富士通セミコンダクター株式会社とGaNパワーデバイスの事業統合について契約を締結、富士通セミコンダクターに前工程量産を委託することに合意しました。これにより、トランスフォーム社のGaNパワーデバイスの市場競争力は更に高まることになります。

当社グループは、日本を含むアジア地域のデジタル家電 (PC、ゲーム機等)、サーバー、白物家電、太陽電池等の市場や将来的には自動車関連の市場に、競争力のあるトランスフォーム社製のGaNパワー半導体を拡販することで、業容の拡大を図るとともに、低炭素社会の実現の一翼を担ってまいります。

トランスフォーム社概要

社名	Transphorm, Inc.
事業内容	GaN技術を核としたパワーデバイス・モジュールの開発、製造、販売
設立	2007年
所在地	115 Castilian Drive, Goleta, CA 93117, USA
C E O	Fumihide Esaka
創設者	Umesh Mishra (CTO) カリフォルニア大学サンタバーバラ校教授 Primit Parikh (President)
社員数	140名
U R L	http://www.transphormusa.com

UKCグループの業績をご報告します

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

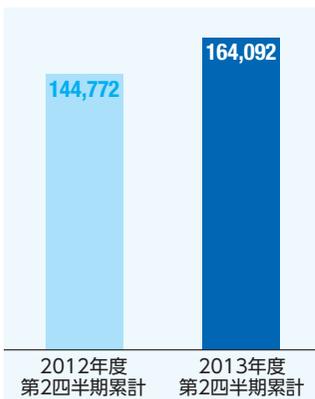
科目	前第2四半期累計 2012年4月 1日から 2012年9月30日まで	当第2四半期累計 2013年4月 1日から 2013年9月30日まで	前年同期比 (増減率)
売上高	144,772	164,092	13.3%
営業利益	4,371	3,172	△27.4%
経常利益	3,769	3,114	△17.4%
四半期純利益	1,978	1,792	△9.4%
1株当たり四半期純利益(円)	125.99	114.16	—

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計 2013年4月 1日から 2013年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,540
投資活動によるキャッシュ・フロー	△258
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,071
現金及び現金同等物の期首残高	10,561
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,473

売上高 (単位:百万円)



前年同期比+193億円

海外のスマートフォン向けイメージセンサー、タッチパネル等の販売増や自社工場におけるEMS事業の増収が貢献。その一方で、デジタルスチルカメラ向けは市場の停滞により減収

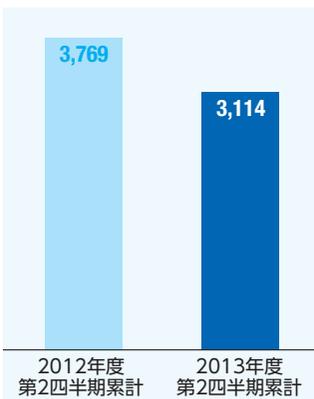
営業利益 (単位:百万円)



前年同期比△11.9億円

相対的に粗利率の高い国内事業の売上高が減少したため、利益率は減少したものの、増収効果により売上総利益は前年同期比微増
しかし、連結海外子会社において、回収に疑義を生じた売掛金に対して保守的にその全額を貸倒引当金に計上(10.4億円)。それに伴い、販管費が大幅に増加し、営業利益は前年同期比大幅減

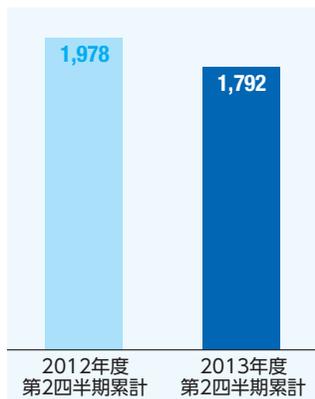
経常利益 (単位:百万円)



前年同期比△6.5億円

為替差損の大幅な改善(4.5億円)があったものの、貸倒引当金の影響で減益

四半期純利益 (単位:百万円)



前年同期比△1.8億円

前年同期計上の退職特別加算金の影響はなくなったものの、貸倒引当金(損金不算入) 大幅増の影響により減益

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 2013年9月30日現在
総資産	132,586
総負債	85,226
純資産	47,360
1株当たり純資産(円)	2,994.95

UKCグループのセグメント別業績状況

UKCグループは、業界トップの売上規模を誇るエレクトロニクス商社です。

取扱製品は、主力の半導体・電子部品のほか、放送用カメラをはじめとする業務用電子機器、産業用カメラやNFC※・フェリカ対応の非接触ICカード関連製品等、多岐にわたります。競争力のあるこれらの製品に、専門エンジニアリング組織によるきめ細かな技術サポート、EMS（電子機器受託製造サービス）、半導体・電子部品の信頼性試験や環境物質分析サービスを組み合わせることにより、お客様に満足いただけるソリューションを提供しております。

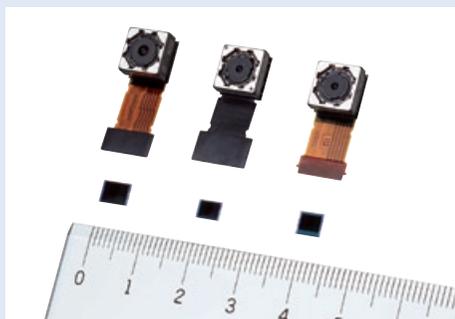
※Near Field Communication:近距離無線技術の国際標準規格。ソニー規格フェリカとの下位互換性を持つ

半導体及び電子部品事業

売上高構成比 **94.5%**

半導体及び電子部品事業におきましては、イメージセンサーやタッチパネルを中心としたスマートフォンやタブレット端末向け製品の販売が好調で増収となり、売上総利益も増加しました。しかし、連結海外子会社において、回収に疑義の生じた売掛金に対して保守的にその全額を貸倒引当金に計上(1,045百万円)したことにより貸倒引当金繰入額が増加し、セグメント利益は大きく減少いたしました。

以上の結果、売上高は1,555億88百万円(前年同期比13.5%増)、セグメント利益は31億93百万円(前年同期比25.5%減)となりました。



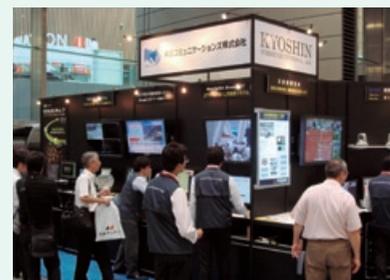
スマートフォン・携帯電話向けイメージセンサーモジュール



電子機器事業

売上高構成比 **4.8%**

電子機器事業におきましては、景気刺激策の効果等により、顧客の設備投資に改善が見られ、一般企業、監視カメラ顧客、教育機関、医療向けを中心に売上が伸びました。しかし、販売費及び一般管理費も増加したため、セグメント利益は減少いたしました。以上の結果、売上高は78億66百万円(前年同期比10.2%増)、セグメント損失は0百万円



円(前年同期は32百万円の利益)となりました。

7月に開催された「ケーブル技術ショー2013」に共通信コミュニケーションズ(株)が出展

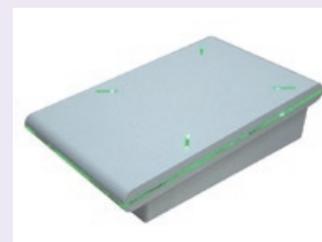


システム機器事業

売上高構成比 **0.7%**

非接触ICカード関連事業におきましては、デジタルサイネージや電子マネー関連ビジネスの活性化に伴い、売上、利益ともに伸びました。その一方で、半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス事業におきましては、試験数の減少に伴い、業績は低調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は11億74百万円(前年同期比15.3%増)、セグメント利益は94百万円(前年同期比20.0%減)となりました。



「UFT-N103S(WE)」UKCオリジナル製品のネットワーク対応フェリカリーダー/ライター端末。コンパクトな外形寸法に豊富な機能を搭載しており、お客様のフェリカアプリケーションの導入を簡単に行うことができます。



(注) 今期より、「電子機器」として取り扱っていた一部の商品を「半導体及び電子部品」に移管。また、前期まで、配賦不能費用として全社費用に含めていた報告セグメントに直接帰属しない一般管理費を今期より各セグメントへ配賦。この変更を遡及して前期実績にも反映